

目次

(題字は正田健次郎)

口 絵

序 文

京都大学原子炉実験所々長 木村 毅一

名古屋大学教授プラズマ研究所々長 伏見 康治

すいせんの言葉

大阪府原子力平和利用協議会々長 大阪府副知事 田中 檜一

はね返された官製原子炉

1 ある夜の謀議……………一

2 中曽根長官失言す……………四

3 辻参謀の誤算……………八

4 モルモットはいやだ……………一一

5 消えた町長……………一五

7	白紙還元、敗軍の将、大いに兵を語る	六一
8	お膳立てはぬかりなく	六五
9	二度目の舌渦事件	六九
10	熊取町初名乗り	七三
11	誘致合戦本格化	七七
12	阪上町長の一心	八一
13	むなしき抵抗	八五
14	日共の内幕	八九
15	本命と対抗馬の決戦	九二

原子の扉をたたけ

1	泉佐野反対に立つ	九七
2	成合山上の爆弾宣言	一〇二
3	理想と打算と百年の計	一〇六

4	奇怪な反抗	一五三
5	三百日闘争の報酬	一五九
6	忘れられた功労者たち	一六三
7	歴史の歯車は回る	一六六
8	燃えよ！ 民衆の原子炉	一七〇
註		一七六
	大阪府原子炉問題審議会について	一八〇
	京都大学研究用原子炉の概要	一八六
	あとがき	一九五
	登場人名簿	一九八

6	保守と革新とノボリ	一九
7	科学者の反省	二二
8	きらわれた原子炉	二五
9	教授と民主団体の話し合い	三〇
10	怪文書のすっぱ抜き	三五
11	暴行された府会議員	三八

科学に党派はない

1	受難者―岡沢完治	四一
2	市議前哨戦始まる	四四
3	田中副知事の度胸	四六
4	オフ・リミット新聞記者	五〇
5	関西原子炉と財界	五三
6	設置協議会誕生	五八

4	文書作戦始まる……………	一〇九
5	役者になつた易者恒田尊行……………	一一四
6	世話人の重大発言……………	一一六
7	和平か徹底抗戦か……………	一二一
8	我が国初の監視機構府条例で制定……………	一二四
9	荒木文相から約束をとりつける……………	一二六
10	目的のため手段を選ばず……………	一二九
11	委員長“山六”の苦悩と英断……………	一三四
12	全学連委員長の異名とる丹羽教授……………	一三六

第三の火は燃える

1	熊取町設置はきまつたが……………	一三九
2	“ちようし”に乗つたアカデミー……………	一四四
3	世話人は名コンビ……………	一四九